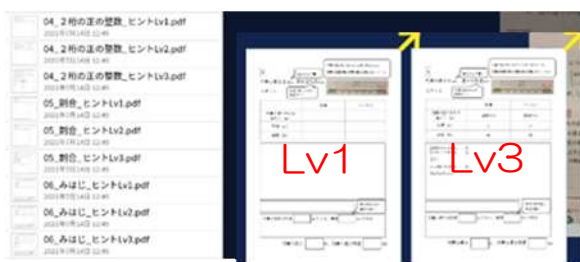


- 【題材名】 2学年数学
- 【内容】 授業でのロイロノートの活用
- 【使用アプリ】 ロイロノート
- 【事例紹介】
- ①ヒントカードの作成・配布
授業内共有フォルダにヒントカードを複数作成した。
生徒は自分の習熟度に応じたヒントカードを選択し、問題を解いた。
 - ②小テストでの活用
単元導入時に前年度の内容の小テストを行い、習熟度を把握した。
 - ③課題の提出
教科書にかき込んだグラフを撮影し、課題として提出した。
 - ④Webカードの配布
GeoGebraのWebカードを配布した。
生徒はGeoGebraでグラフを作成し、自分がかいたグラフと比較した。



①ヒントカードの作成・配布



③課題の提出



②小テストでの活用



④Webカードの配布

【解説】 授業でロイロノートを活用することで、生徒の興味・関心が高まり、意欲的に取り組む生徒が増えた。また、ヒントカードを複数作成することで、一斉授業の中で習熟度に応じた学習をさせることができた。今後もロイロノートの活用方法を模索し、生徒の更なる学力向上を図っていきたい。

(教育委員会主幹講評) ロイロノートと数学の学習用の無料のデジタルツールの「GeoGebra」を紹介していただきました。個に応じた学びの実現に向けてヒントカードの活用は良いアイデアです。GeoGebraの活用事例はWeb上に多く紹介されています。数学科の先生方は是非参考にしてください。